

日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医療後期研修プログラム

武蔵野家庭医療プログラム 募集要項2014

武蔵野家庭医療プログラムでは2014年度に研修を開始する研修医を募集いたします。

◆研修期間 2014年4月から3年間

◆主たる研修施設

武蔵国分寺公園クリニック、東京北社会保険病院ほか

◆プログラム責任者

武蔵国分寺公園クリニック院長 **名郷直樹**

◆募集定員 **1名**(選抜による)

◆募集資格

- 医師免許取得後2年以上の卒後臨床研修修了者または修了見込み者
- 医師免許取得後3年以上で、新たに家庭医療への専攻を志す者

◆処遇 各研修施設の規定による

◆応募方法

ホームページのお問い合わせフォームまたはメールからご連絡ください。

メール mkkclinic@gmail.com (担当:福士)



武蔵野家庭医療プログラム 募集要項2014

◆研修理念

人は病気になることを避けられない、死ぬことを避けられない、という現実を基盤にすえ、**あらゆる問題に対応できる臨床医の育成**が、本プログラムの基本理念である。理念は、0の軸、1の軸、3の軸、5の軸で多面的に定義づけている。

0の軸 万物は流転する(人は生まれ、生き、病気になり、死ぬ)

1の軸 あらゆる問題に対応する

3の軸 多様な視点を持つ
境界を設けない
患者のナラティブを重視する

5の軸 患者によって自分を変える
患者や問題の種類により差別をしない
生物学的問題だけでなく心理社会的問題も重視する
臓器、ヒトにとどまらず、家庭、地域をも視点とする
診察室に來ない人のことも考慮する



武蔵野家庭医療プログラム 募集要項2014

◆研修単位 後期研修プログラム細則 Ver1準拠

Y1 総合内科・小児科 東京北社会保険病院など

Y2 クリニック 武蔵国分寺公園クリニック

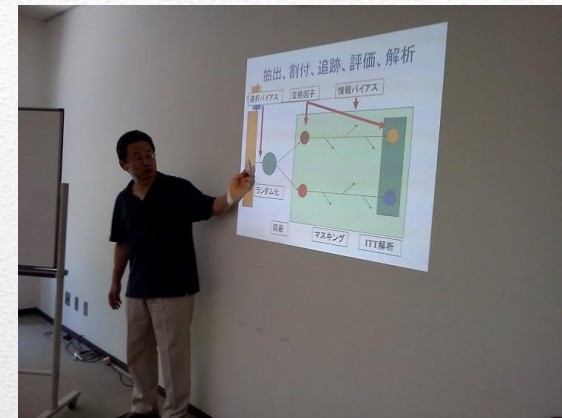
Y3 選択

複数の家庭医がグループ診療を行うクリニックを中心としたプログラムで、**外来診療と24時間対応の在宅医療が研修の柱**となる。

EBM、行動科学、患者中心の医療の方法を使いこなし、幅広い健康問題が取り扱える医師を育成する。

特に**EBMの実践**においては、今後のリーダーとなる人材を育成する。

また**臨床につながる研究・教育についても重視**し、診療データを利用した臨床研究への参加、臨床研究のe-Learningコースの受講、医学教育に関する臨床研究、初期研修医教育についても研修できる。



武蔵野家庭医療プログラム 募集要項2014

◆評価方法

- 研修単位毎に**目標設定**を行い、設定された目標に沿って評価を行う。
- **日々のふりかえり(形成的評価)**を基本とし、研修単位毎に現場評価と定期的なふりかえり面談を行う。
- 年度末には**研修報告会**を行い、研修状況・目標達成度をモニタリングする。
- 研修終了時までには、**ポートフォリオを用いた修了試験**を行う。
- 修了が認められると、家庭医療専門医試験の受験資格が得られる。

◆プログラム責任者



名郷直樹 (なごうなおき)

武蔵国分寺公園クリニック院長。自治医科大学卒業後、愛知県でへき地医療に従事。日本のEBM実践の第一人者。「CMECジャーナルクラブ」「ステップアップEBM実践ワークブック」「臨床研究のABC」等、EBM関連著書多数。

